

ベトナムの教育と10月の注目ニュース

とちぎベトナムサポートハブ

(運営：ONE-VALUE 株式会社)

2024年10月

I. はじめに

ベトナム・ハノイ市に開設された、とちぎベトナムサポートハブ（愛称：とちぎハブ）より、毎月ベトナム現地の最新情報をお届けいたします。今回は、先月のベトナムの教育事情に続き、教育制度の説明です。また、今月（10月）の注目ニュースをお伝えいたします。

II. ベトナムの教育制度

ベトナムの教育制度は1989年に全国的に統一されました。それ以前は南北で異なる制度が存在していました。1991年には初等教育の5年間を義務化し、1998年には体系的な教育法が制定されました。ベトナムの学年度は9月から始まり、翌年6月中旬まで続きます。夏休みは6月～8月です。以下は、ベトナムの教育制度図となります。

22歳～	大学院博士課程 (4年～6年)			
	大学院修士課程 (1～2年)			
18歳～22歳(～24歳)	大学1年生～4年生(+1年～2年)	短大1年生～2年生(+1年)		
15歳～18歳	普通中学校10年生～12年生(高校3年)	中級職業学校 3～4年(+1年～2年)	初級職業学校 3か月～1年	
11歳～15歳	基礎中学校6年生～9年生(中学4年)			
6歳～11歳	小学校1年生～5年生(小学5年)			
3歳～6歳	幼稚園			
0歳～3歳	保育園			

出所：ONE-VALUE作成

義務教育

ベトナムの義務教育は、以下のように構成されています。

- **就学前教育**：1年(5歳)
- **小学校**：5年(6歳～11歳)
- **中学校**：4年(12歳～15歳)

この10年間の義務教育は、基本的に無償で提供されており、教育内容には国語、数学、外国語（主に英語）、科学、社会科などが含まれます。

義務教育終了後

中学校卒業後は、高校進学、職業学校進学、就職に分かれます。高校への就学率は72%。大学の進学率は、政府の公式な統計はありませんが30%程と一般的に推計されています。ベトナムでは、高校卒業試験（国家共通試験）が全国的に実施されます。この試験は卒業資格を得るため、受験は必須であり、その結果は大学入学の可否にも加味されます。

ベトナムも学歴社会で、特に都市部の子供たちは、良い高校、大学に入るため、放課後も塾に行き、夜遅くまで勉強をしています。この勤勉さが現在のベトナムの発展の源になっているのかもしれませんが。

Ⅲ.【10月注目ニュース】

➤ 順調な伸びを示すベトナムへのFDI

2024年1月～9月にベトナムに登録されたFDI(外国直接投資)の総額は約250億ドルに達し、前年同期比で11.6%以上の増加を記録しました。世界中の多くの大企業がベトナムへの投資の機会を伺い、ベトナムはグローバルな生産チェーンで重要な地位を占めつつあります。マクロ経済の安定性、経済成長の回復、そしてグローバルな製造業者によるサプライチェーンの多様化戦略が、今年もベトナムへのFDIを引き寄せる要因となっています。

➤ 農林水産物の輸出額も順調な伸びを示す

ベトナム統計総局のデータによれば、第3四半期末までに農林水産物の総輸出額は463億ドルに達し、前年同期比で21%増加しています。1年の4分の3が過ぎたばかりですが、農業部門は年間目標の84%を達成しています。特に、野菜とコーヒーは前年同期比で約40%の強い成長を見せています。市場別では、アメリカが21%以上のシェアで首位に立ち、中国が20%、日本が6.6%となっています。前年同期と比較して、ベトナムからこれら各3か国の市場への農林水産物の輸出額は10～20%増加しています。

とちぎベトナムサポートハブ

<所在地>14F, Viet A Building, No.09 Duy Tan, Cau Giay, Hanoi, Vietnam

HP:<https://onevalue.jp/>